

患者さんが安心して末永く通院できる
快適な施設を目指して

医療法人 八田内科医院 ニュースレター vol.1

Hatta Medical News



「Hatta Medical New」を発売しました。今後、どこまで継続できるかわかりませんが、できるだけ有意義な情報をお届けしたいと思っています。

さて、いよいよ花粉症の季節になりました。近畿では例年よりも多くの花粉の飛散が見込まれています。花粉症治療薬は、効果を発揮するのに約二週間かかると言われています。早めの服用開始をお勧めします。

まだまだ寒い日が続きますが、皆様にはくれぐれも体調管理に気をつけて頂くようお願いいたします。

今号は、『八田内科医院の改築と今後の見込み』、『当院の誇るべき禁煙外来の成績』、『頸動脈エコー』などについてお知らせします。

次号では、スタッフ紹介を予定しています。ご期待ください！

休診・代診予定

3/12 (水) 夜 代診
文裕子先生⇒院長

4/30 (水) 午前 代診
一郎先生⇒文裕子先生

5/2 (金) 午前
一郎先生のみ休診
院長通常通り

八田内科医院の改築と今後の見込み

皆さん、こんにちは。八田内科医院院長の八田 告(つぐる)です。昨年4月に父一郎より継承して早や一年が経ちました。最初は、すべての患者さんと初対面でした。しかし、患者さんの病気だけでなく、生活や家族構成、困っておられることなどを少しずつ教えて頂けるようになりました。詳細な検査をすれば、病気の診断は可能です。しかしその方に適した治療方法を選ぶには、その方の歴史や生活環境を知ることが大変重要です。様々な患者さんと出会い、そしてお付き合いが始まることを毎日楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、新しい待合室は如何でしょうか？ 気に入って頂けましたか？ 『靴はどこで脱ぐの？』『土足じゃもったいないわー』『病院じゃないみたいね！』など様々なうれしいお声を頂戴しています。医院改装のデザインには、文裕子先生のアイデアが沢山詰まっています。待合室の椅子も文裕子先生が選びました。長い待ち時間でいつも申し訳なく思っていますが、少しでも皆さんにリラックスして頂ければ幸いです。

今後は、駐車場横に内視鏡室、レントゲン室、三つ目の診察室を新設する予定です。認可の関係で完成は5-6月を見込んでいます。今しばらく、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願いします。(文責：八田 告)



新しいコンセプトの点滴ベッド



つらいとき、しんどいときの点滴、少しでも腰を楽に受けて頂きたい、そんな思いで点滴ベッドのソファタイプを導入しました。お

好みの高さ、リクライニングが可能です。ご希望の方は、お申し出ください。今後、工事が完了すれば現在の点滴室には、計6つのベッドが入る予定です。

初公表 当院禁煙外来の成績（小野寺、森、大江看護師より）

当院は、2010年より禁煙外来を始め、これまでの禁煙達成率は、なんと72%です。「たばこは、病院でやめよう！」の時代になりました。たばこをやめようと強く決意したにもかかわらず、やめられないのはなぜでしょう？ 多くは意思の弱さのせいではなく、タバコの煙に含まれるニコチンのせいだと言われています。ニコチン依存症は意志の力だけで治すことは難しく、治療が必要となります。これまでも使われてきたニコチンを含む薬のほか、新しくニコチンを含まない飲み薬も登場して強力な味方が増えました。まだタバコ吸っているあなた、試してみませんか？

誇るべき禁煙達成率の立役者

禁煙を成功させるためには、経験豊富な看護師の役割は欠かせません。そこで禁煙指導を担当している看護師に語ってもらいました。

私達は、禁煙を気軽に始めてほしいと思っています。そして来院して頂くことが、禁煙の第一歩だと思っています。禁煙に自信がなくても、一度私達の話聞いていただき、薬を飲みながら3か月（計7回の受診）し、最終日には禁煙できる自信を持っていただけるようスタッフ一同バックアップ致します。

禁煙は一人では困難です。たくさんの人の助けや、経験を踏まえた禁煙方法を試す中でできるものです。ぜひ大きな一歩を踏み出してください！

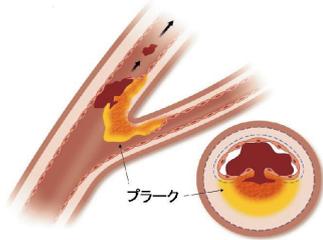
（文責 森直子）

頸動脈エコー検査を始めました

糖尿病、高血圧、高脂血症などがあると、動脈硬化を発症します。頸動脈に動脈硬化があると脳卒中を発症することがあります。頸動脈エコーは、首に超音波を当てただけで脳卒中になりやすいかどうか数分でわかり、痛みも全くない検査です。脳卒中リスクを早期発見し、脳卒中を予防しましょう！



頸動脈狭窄におけるプラークと血栓形成



ご希望の方は、医師、看護師にご相談ください。

禁煙達成率 72%



禁煙達成率：総受診者中53名中、3か月後に完全禁煙を達成した割合

医療法人 八田内科医院
Hatta Medical Clinic, Kyoto, Japan

院長コラム

開業医になって良かったこと

かかりつけ医になってよかったことが、たくさんあります。それはいろいろな病気を診ることができるようになったことです。私は京都府立医大第二内科で研修し、すべての内科疾患に対応できるよう訓練されてきました。一方、20年以上に亘り勤務した総合病院は、各臓器の専門家の集まりです。つまり糖尿病や心臓病、皮膚疾患などを、専門家への相談なしに治療しにくい仕組みになっており、少々窮屈な思いをしていました。

しかし、地域のかかりつけ医には、病院の医師と異なりプライマリケアという初療する役割があります。皆さんの体調の変化を早期に発見し、いつも元気でいられるよう、あらゆることに対応していきたいと考えています。些細な症状が大きな病気の前触れのこともあります。日頃と変わった症状があれば、“畑違い”だと思わず、何でも教えてください。もちろん必要に応じて専門医もご紹介いたしますので、ご安心ください。

一郎先生、高山病に耐えてマチュピチュより帰還

一郎先生がなんと、年末年始を利用してマチュピチュへ行かれました。膝関節痛を毎週のリハビリで乗り越え、高山病に耐えての帰還です。何人もの患者さんから「無事に帰ってこられました？」とご心配頂きました。お礼に絶景をお届けします！

（写真提供：八田一郎）

